

〈連携協定概要〉

熊本県と松屋、くまもとDMCの連携による地域共創の取組みの実現に向けて、三者の強みを活かし、くまもと県産品の販路拡大や高付加価値化、観光振興、文化振興等について一体となって実践するために、連携協定を締結するもの。

▼連携のイメージ

三者の目的と強みを活かし、三位一体となった地域活性化策を展開



【目的】「松屋の地域共創」による展開や百貨店としての更なる価値向上
【強み】良品の目利き力やデザイン力、情報発信等の松屋ブランド

【目的】観光地域づくりの施策の推進
【強み】県内の物産や観光、文化等の地域価値の発掘

「銀座」という立地・松屋ブランド、そして熊本の物産や観光、文化等の地域資源を掛け合わせた、

新たな地域共創の実現へ

〈3者による連携実績〉

首都圏における熊本県産品の販路拡大や高付加価値化、伝統工芸品や観光の情報発信等を目指す「くまもとモン×東京銀座ジャック（熊本県・くまもとDMC共催）」において、松屋は第1回目(2024年1月)の開催から連携事業者として尽力。松屋銀座でのくまもとモンフェア開催やショーウィンドウでの伝統工芸品や県産品のディスプレイなど、くまもと県産品や熊本の観光・文化の魅力発信等に大きく貢献している。



くまもとモン × 松屋銀座

▲「くまもとモンフェア」の開催

▲松屋銀座1階ショーウィンドウでの「山鹿灯籠/竹あかり」装飾

※「くまもとモン×●●ジャック」は、熊本県の魅力が詰まった県産品を「くまもとモン」と称し、百貨店や飲食店と連携して地方の隠れた「食」と都市部の強力な情報発信力・集客力とをマッチングさせ、新たな地方産品の流通と話題性を取り込む「食」の祭典企画。これまで「東京銀座」「大阪梅田」「福岡天神」の3エリアで開催している。